

北海道大学北方生物圏フィールド科学センター 厚岸臨海実験所 公開臨海実習実施要領

1. 実習タイトル

国際公開臨海実習Ⅲ

2. 授業科目

生物学特別実習Ⅰ（1単位）※所属大学の単位としての認定は、所属大学の決定によります。

3. 実施場所

北海道大学北方生物圏フィールド科学センター水圏ステーション厚岸臨海実験所
〒088-1113 北海道厚岸郡厚岸町愛冠1番地
TEL 0153-52-2056 / Email nakaoka@fsc.hokudai.ac.jp

4. 実施期間

令和6年7月31日（水）～8月4日（日） 5日間
{7月31日（水）15時集合、8月4日（日）午前解散}

5. 対象学生

国立大学および公私立大学の生物系学部・大学院に在籍する学部学生（3・4年生）・大学院生を対象とする。定員に空きがある場合、他学部・他学年の学部生、大学院生も受講可能である。ただし、大学院生の単位の認定はできないので留意すること。

6. 実習内容（実習は英語で行うが、日本語によるサポート有り）

国際公開臨海実習Ⅲ（指導教員：仲岡雅裕、伊佐田智規、鈴木一平、Po Teen Lim）

基礎的な海洋生物学・生態学を既習した学生を対象に、先進的な内容を課題とした発展的かつ分野統合的な実習を国内外の学生が共同で行う。寒流生態系に特徴的な海洋生物を対象として、群集生態学、生物海洋学、保全生物学など異なる分野にわたる課題に取り組むことにより、海洋生物学・生態学の最先端の知識を身につけると共に、問題解決型の研究課題への取り組み方を習得する。本実習では北海道東部の海洋生態系、特に沿岸域の漂泳生態系とプランクトン群集、および海洋哺乳類に焦点を当て、その基礎的な生物学・生態学から、近年深刻になっている人間活動由来の環境変動がその生態系機能に与える影響について理解を深める。その結果を踏まえて海洋生態系の諸問題の解析方法および解決方法に関する議論を参加者同士で行い、海洋生態系の成り立ちや人間活動の影響に関する課題について理解を深める。

1. 植物プランクトンと水質の観測とその関係の解析
2. 陸域からの物質流入が海洋生態系に与える影響の評価
3. 海洋哺乳類が生態系および水産業に与える影響の解析と議論
4. グループでの課題研究・成果報告

7. 定員

8名

8. 選考

定員を超えた場合は書類選考を行う。申込〆切は実習開始日の2か月前。定員に満たない場合は追加募集を行う（実習開始日の1か月前まで）。

9. 提出書類その他（所属大学の教務を通じて申し込んでください）

- (1) 特別聴講学生願書（別紙様式1、希望コースを明記すること）
大学院生が申し込む場合は「受講許可願」（別紙様式2）を提出すること（単位認定なし）。
- (2) 顔写真1枚を（1）の様式の所定の欄に貼付すること。
- (3) 参加希望コース及び実習の受講を希望する理由（200字以内、任意様式）
- (4) 学生教育研究災害傷害保険及び学研災付帯賠償責任保険の加入証明書（又はこれに相当する保険の加入証明）

10. 申込期限

令和6年5月30日（木）

なお、定員に満たない場合は追加募集を行う（実習開始日の1か月前まで）。

11. 申込先

北海道大学理学・生命科学事務部事務課教務担当

〒060-0810 札幌市北区北10条西8丁目

※郵送の際、封筒の表に「公開臨海実習参加申込書類在中」と朱書きすること。

12. 参加費用

宿泊費と食費、その他雑費を含めて合計約10,000円。

国立大学の学生は、授業料は不徴収とする。

公私立大学の学生は、単位認定を希望する場合、特別聴講学生の授業料が必要となる。ただし、学部間による履修に関する協定を締結することにより、授業料は不徴収となる。締結状況については事前に所属学部の教務事務担当へ確認すること（協定の締結は、北海道大学理学部と履修希望者が所属する学部担当者間の打ち合わせにより進めます）。

※特別聴講学生等として受け入れる際の授業料等について、「北海道大学における特別聴講学生及び特別研究学生に係る授業料等の不徴収に関する規程」（平成16年海大達第267号）に規定する要件を満たした場合は、これを徴収しない。

13. その他

複数の公開実習を履修したものも、単位は1単位のみとする。

詳細な日程、実習内容、交通案内、日常生活上の注意などに関しては、受講決定者に教員より別に通知する。

（註）この件に関する問い合わせは、下記へ願います。

参加の手続きについては

北海道大学理学・生命科学事務部事務課教務担当

〒060-0810 札幌市北区北10条西8丁目

TEL 011-706-2656 E-mail rkyo1@sci.hokudai.ac.jp

実習内容については

北海道大学北方生物圏フィールド科学センター水圏ステーション厚岸臨海実験所

〒088-1113 北海道厚岸郡厚岸町愛冠1番地

TEL 0153-52-2056（仲岡まで）

E-mail nakaoka@fsc.hokudai.ac.jp（仲岡）

ホームページ <http://www.fsc.hokudai.ac.jp/KANRYU/>

<http://www.fsc.hokudai.ac.jp/akkeshi/>

（今年の実習情報や追加募集の有無等をホームページに掲載しています。）

個人情報の取扱いについて

本学では、個人情報の取扱いについては、「独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律」等の法令を遵守するとともに、「国立大学法人北海道大学個人情報管理規程」に基づき、保護に万全を期しています。

実習の申し込みにあたって取得した個人情報は、当該実習参加者の決定、実習の実施及びこれらに付随する業務のために利用します。

北海道大学北方生物圏フィールド科学センター 厚岸臨海実験所 公開臨海実習実施要領

1. 実習タイトル

国際公開臨海実習Ⅳ

2. 授業科目

生物学特別実習Ⅰ（1単位）※所属大学の単位としての認定は、所属大学の決定によります。

3. 実施場所

北海道大学北方生物圏フィールド科学センター水圏ステーション厚岸臨海実験所
〒088-1113 北海道厚岸郡厚岸町愛冠1番地
TEL 0153-52-2056 / Email nakaoka@fsc.hokudai.ac.jp

4. 実施期間

令和6年8月4日（日）～8月8日（木） 5日間
{8月4日（日）15時集合、8月8日（木）午前解散}

5. 対象学生

国立大学および公私立大学の生物系学部・大学院に在籍する学部学生（3・4年生）・大学院生を対象とする。定員に空きがある場合、他学部・他学年の学部生、大学院生も受講可能である。ただし、大学院生の単位の認定はできないので留意すること。

6. 実習内容（実習は英語で行うが、日本語によるサポート有り）

国際公開臨海実習Ⅳ（指導教員：仲岡雅裕、伊佐田智規、鈴木一平、Hsing-Juh Lin）

基礎的な海洋生物学・生態学を既習した学生を対象に、先進的な内容を課題とした発展的かつ分野統合的な実習を国内外の学生が共同で行う。寒流生態系に特徴的な海洋生物を対象として、群集生態学、生物海洋学、保全生物学など異なる分野にわたる課題に取り組むことにより、海洋生物学・生態学の最先端の知識を身につけると共に、問題解決型の研究課題への取り組み方を習得する。本実習では北海道東部の海洋生態系、特にアマモ場の生物多様性、生態系機能、生態系サービスに焦点をあてて学習し、それを踏まえて海洋生態系の諸問題の解析方法および解決方法に関する議論を参加者同士で行い、海洋生態系の成り立ちや人間活動の影響に関する課題について理解を深める。

1. 厚岸湾のアマモ場および海藻藻場の垂直分布の観察とその要因解析
2. アマモ場の生物群集と食物網の解析
3. アマモ場のモニタリング調査と長期変動の解析
4. グループでの課題研究・成果報告

7. 定員

8名

8. 選考

定員を超えた場合は書類選考を行う。申込み切は実習開始日の2か月前。定員に満たない場合は追加募集を行う（実習開始日の1か月前まで）。

9. 提出書類その他（所属大学の教務を通じて申し込んでください）

- (1) 特別聴講学生願書（別紙様式1、希望コースを明記すること）
大学院生が申し込む場合は「受講許可願」（別紙様式2）を提出すること（単位認定なし）。
- (2) 顔写真1枚を（1）の様式の所定の欄に貼付すること。
- (3) 参加希望コース及び実習の受講を希望する理由（200字以内、任意様式）
- (4) 学生教育研究災害傷害保険、及び学研災付帯賠償責任保険の加入証明書（又はこれに相当する保険の加入証明）

10. 申込期限

令和6年6月3日（月）

なお、定員に満たない場合は追加募集を行う（実習開始日の1か月前まで）。

11. 申込先

北海道大学理学・生命科学事務部事務課教務担当

〒060-0810 札幌市北区北10条西8丁目

※郵送の際、封筒の表に「公開臨海実習参加申込書類在中」と朱書きすること。

12. 参加費用

国際公開臨海実習Ⅳ：宿泊費と食費、その他雑費を含めて合計約10,000円。

国立大学の学生は、授業料は不徴収とする。

公私立大学の学生は、単位認定を希望する場合、特別聴講学生の授業料が必要となる。ただし、学部間による履修に関する協定を締結することにより、授業料は不徴収となる。締結状況については事前に所属学部の教務事務担当へ確認すること（協定の締結は、北海道大学理学部と履修希望者が所属する学部担当者間の打ち合わせにより進めます）。

※特別聴講学生等として受け入れる際の授業料等について、「北海道大学における特別聴講学生及び特別研究学生に係る授業料等の不徴収に関する規程」（平成16年海大達第267号）に規定する要件を満たした場合は、これを徴収しない。

13. その他

複数の公開実習を履修したものも、単位は1単位のみとする。

詳細な日程、実習内容、交通案内、日常生活上の注意などに関しては、受講決定者に教員より別に通知する。

（註）この件に関する問い合わせは、下記へ願います。

参加の手続きについては

北海道大学理学・生命科学事務部事務課教務担当

〒060-0810 札幌市北区北10条西8丁目

TEL 011-706-2656 E-mail rkyo1@sci.hokudai.ac.jp

実習内容については

北海道大学北方生物圏フィールド科学センター水圏ステーション厚岸臨海実験所

〒088-1113 北海道厚岸郡厚岸町愛冠1番地

TEL 0153-52-2056（仲岡まで）

E-mail nakaoka@fsc.hokudai.ac.jp（仲岡）

ホームページ <http://www.fsc.hokudai.ac.jp/KANRYU/>

<http://www.fsc.hokudai.ac.jp/akkeshi/>

（今年の実習情報や追加募集の有無等をホームページに掲載しています。）

個人情報の取扱いについて

本学では、個人情報の取扱いについては、「独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律」等の法令を遵守するとともに、「国立大学法人北海道大学個人情報管理規程」に基づき、保護に万全を期しています。

実習の申し込みにあたって取得した個人情報は、当該実習参加者の決定、実習の実施及びこれらに付随する業務のために利用します。